

平成 30 年 3 月 27 日 (火)

交通事故を未然に防ぐため、大学・企業と連携し、 ビッグデータを活用した分析を始めます

第 10 次豊橋市交通安全計画アクションプランに掲げる「ビッグデータを活用した予防型交通安全対策」を実施するために、豊橋市、ジャパン・トゥエンティワン株式会社及び豊橋技術科学大学の 3 者の協力事項について定める協定を締結し、交通事故削減を目指していきます。

1 協定締結式

- (1) 協定名 走行車両取得情報を活用した予防型交通安全対策に関する協定
- (2) 日時 平成 30 年 4 月 12 日 (木) 午前 10 時 30 分～
- (3) 場所 豊橋市役所東館 4 階 政策会議室
- (4) 出席予定者 (敬称略)

ジャパン・トゥエンティワン株式会社 代表取締役社長 CEO 加藤 充
国立大学法人 豊橋技術科学大学 学長 大西 隆 ・ 助教 松尾 幸二郎
豊 橋 市 市長 佐原 光一

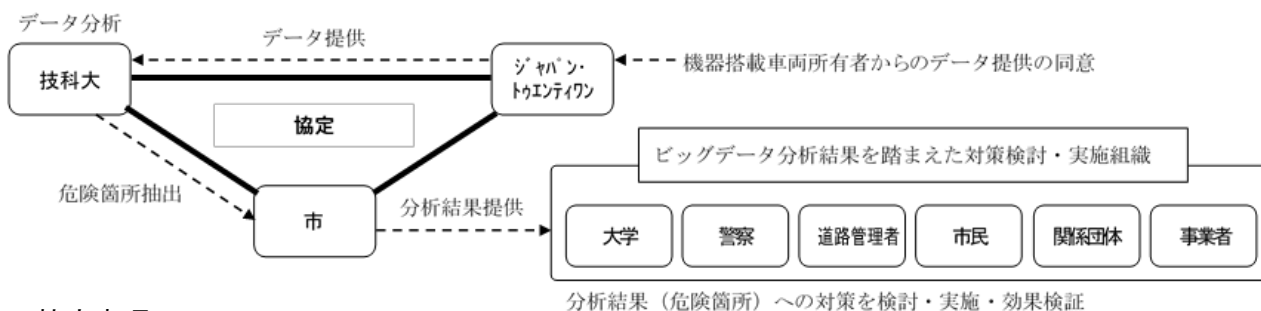
2 走行車両取得情報を活用した予防型交通安全対策とは

走行車両取得情報※をもとに豊橋技術科学大学が分析して、潜在的な危険箇所を抽出し、当該危険箇所における事故を未然に防ぐための効果的な対策を、産学官民で構成する組織において検討・実施するものです。

※走行車両取得情報とは

ジャパン・トゥエンティワン株式会社が販売する前方車両衝突警報システム「モービルアイ」を搭載した車両から得られる自動車走行状態データ及び警告イベントデータ

■事業のイメージ



3 協定事項

- ① ジャパン・トゥエンティワン株式会社が保有する走行車両取得情報を無償で提供する。
- ② 豊橋技術科学大学が走行車両取得情報を分析する。
- ③ 豊橋市が走行車両取得情報の分析結果に基づき交通安全対策を検討及び実施する。
- ④ 対策実施後の走行車両取得情報を分析し、対策効果を検証する。

問合せ先 市民協創部安全生活課 主幹 花谷 (電話 51-2554)

